

授業における 情報システム利用の基礎

情報基盤センター 柴山悦哉

概要

- 東大で初めて授業を担当する方も対象に、 基本的なことから説明します
- 次のような内容を手短に紹介します
 - UTokyo Account を使う ← これがすべての基本
 - UTAS を使う ← 公式な手続きはここから
 - Zoom を使う ← オンライン授業の場合
 - ITC-LMS を使う ← 教材配布やレポート回収など

わからないことがあつたら

- 情報を <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/> に集めています
- 詳しくは第4部で

The screenshot shows the homepage of the utelecon website, which is a portal for online teaching and web conferencing at the University of Tokyo. The page features a dark header with the university's logo and navigation links for 'TOP | About | English'. Below the header, there are sections for 'まずはここから' (Start here), 'ピックアップ' (Pickup), '授業にあたって' (For classes), and '新着記事' (New articles). Each section contains several links to specific guides or notices. At the bottom, there are icons for navigation and support.

わからないことがあつたら

The screenshot shows the homepage of the utelecon website, which provides information for teaching staff about online teaching and learning systems at the University of Tokyo.

サポート窓口 (Support Window): Points to the "サポート窓口" section under the "まずはここから" heading.

授業開始前に (Before the start of classes): Points to the "授業にあたって" (Before classes begin) section under the "授業にあたって" heading.

検索ボックス (Search Box): Points to the search bar in the top right corner of the page.

初めて授業を担当する先生向け (For new teaching staff): Points to the "東京大学における情報システムの準備について (教員向け)" (Preparation for information systems at the University of Tokyo (for faculty)) section under the "まずはここから" heading.

新着記事 (New articles): Points to the "新着記事" (New articles) section at the bottom of the page.

Page Navigation: Includes icons for back, forward, search, and support window.

Page Footer: Includes the URL <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/online/topics/generative-ai> and the text "2023年Aセメスター説明会".

サポート窓口

■ サポート窓口には次のオプションがあります

- チャット（ボット or 人間のオペレータ）
- Zoom で相談
- Google フォームで問い合わせ

チャットサポートで質問できます

こんにちは！問題解決のお手伝いをします！
Hello! How can we help you?

使いたい言語を選んでください。
Please choose the language you want to use.

日本語
English

ウェブ接客コード : 2919

Powered by [MediaTalk](#)

utelecon サポート窓口・メール相談フォーム / Consultation Form of utelecon Technical Support Desk

迅速に回答を行うため、問い合わせへの対応は原則として、学生スタッフ「コモンスター」と教職員が共同で行っています。このことをご理解の上、問い合わせ時に示す情報を適切にご判断くださるようお願いします。

学生スタッフにより対応することが不適当な機微な内容（成績の情報など）を含む場合は、本フォーム内にあるその旨のチェックボックスにチェックを入れてお問い合わせください。教職員のみで対応を行います。ただし、返信が遅れる可能性がある旨をご了承ください。

その他、本サポート窓口に関する注意事項は <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/support/> をご覧ください。

To ensure prompt response, the support desk is generally staffed by students, as well as faculty staff. Please be aware of that fact when you make inquiries.

If your inquiry contains sensitive information (such as grade information) that is inappropriate to be handled by student staff, please check the box indicating so in this form. Only faculty members will handle the inquiry. However, there may be a delay in the reply in such cases.

Please refer to <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/en/support/> for other notes on the support desk.

[Google にログイン](#)すると作業内容を保存できます。詳細

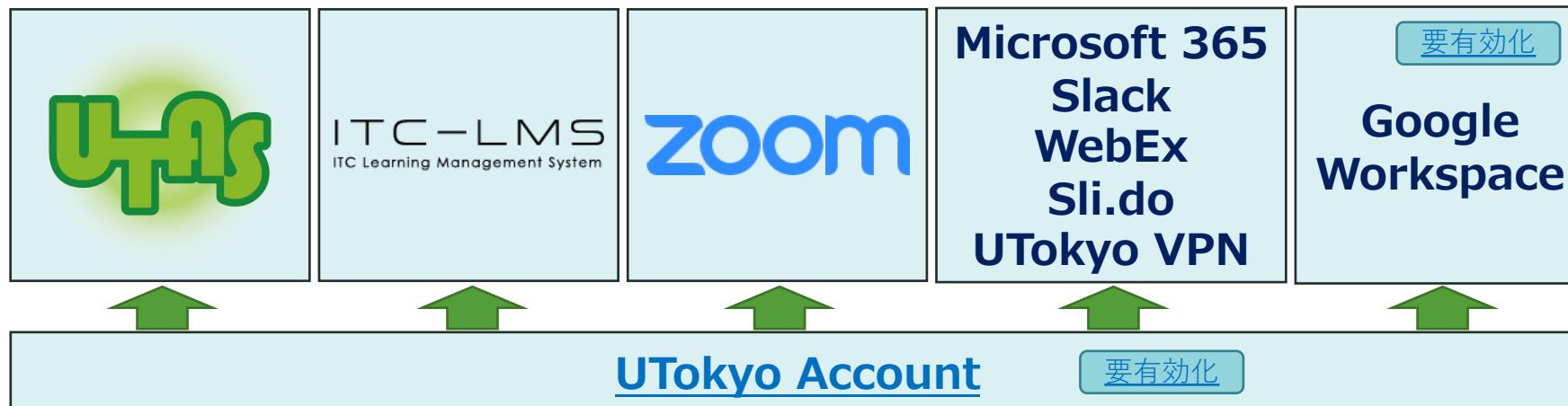
* 必須の質問です

授業担当者用の主な情報システム

■Google 以外は UTokyo Account だけで使えます

- Slack, VPN は多要素認証が必須

認証の統一・連携
シングルサインオン (Single Sign-On, SSO)



UTokyo Account

- システムを使おうとしてこの画面が出てきたら、 UTokyo Account でサイ
ンインできます
- 通称「安田講堂」
 - 一 画面
 - 一 に飛ばされる
 - スマホ用画面だと安田講堂は出ません



2023年Aセメスター説明会



 東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

サインイン

Username

Password

サインイン

パスワード変更・再設定
Change or reset your password

UTokyo Accountについて
About UTokyo Account

初期設定

- 新任の方は、初期パスワードの変更が必要です
- 多要素認証の有効化を推奨します

●詳しくは第3部で



The screenshot shows the utelecon portal homepage for faculty members. The main title is "東京大学における情報システムの準備について（教員向け）". A sidebar on the left lists various topics under "目次". A red box highlights the "はじめに：共通ID「UTokyo Account」の初期設定など" section, which includes links for changing the initial password, enabling two-factor authentication, and taking security education. A yellow callout bubble points to this section with the text "ここを参照". At the bottom, a large orange bar contains the URL https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/faculty_members/.

ユーザ名について

■ ユーザ名(ID)は、数字10桁です

- e.g. 1234567890
- 職員証をお持ちの場合、右下の下10桁です



ユーザ名について

■正式には 数字10桁@utac.u-tokyo.ac.jp

- 学内では、数字10桁で一意にユーザが決まります
- しかし、全世界を対象とした Microsoft や Zoom のサービスを使うときには、数字10桁だけでは不十分です

ユーザ名の罠



■場所によって、指定すべきユーザ名が違います

数字10桁のみ
受け付ける

LDAP Manager  User Profile Maintenance

UTokyo Account 利用者メニュー

日本語

共通ID
(数字10桁)

パスワード

[UTokyo Accountの注意事項]
初めての方は「UTokyo Account パスワード通知書」に記載されているユーザ名・パスワードを入力して、パスワードを変更してください。
ユーザ名は共通ID（数字10桁）でログインしてください。

パスワードをお忘れの方は、[こちら](#)からパスワードをリセットしてください。
UTokyo Account申請メニューは [こちら](#)

数字10桁@utac.u-tokyo.ac.jp
のみ受け付ける

どちらでも可

Microsoft
サインイン

アカウントがない場合 [アカウントを作成しましょう](#)

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

サインイン

Username

パスワード

パスワード変更・再設定
Change or reset your password

UTokyo Accountについて
About UTokyo Account

ユーザ名のさらなる罠



■ ユーザ名を受け付けない場所もあります

● Zoomについては第2部で



The screenshot shows the Zoom sign-in page. A yellow callout box points to the 'メールアドレス' (Email Address) input field, which is highlighted with a red border. Another yellow callout box points to the 'SSO' button, also highlighted with a red border. The page includes fields for 'Password' and 'Forgot Password?'. There is a checkbox for 'Sign in immediately' and links for 'Help' and 'Sign in'. A note at the bottom states: 'ZoomはreCAPTCHAで保護されています。また、プライバシーポリシーとサービス利用規約が適用されます。' (Zoom is protected by reCAPTCHA. Additionally, the Privacy Policy and Service Terms apply.)

数字10桁@utac.u-tokyo.ac.jp
も数字10桁も受け付けない

ここを押して、次のページで
u-tokyo-ac-jp と入力すると
サインインできる

zoom

Zoomは初めてですか？ 無料サインアップ サポート 日本語 ▾

サインイン

メールアドレス

パスワード

パスワードをお忘れですか？ ヘルプ

サインイン

サインインにより、私はZoom のプライバシーステートメントとサービス利用規約に同意します。

サインインしたままにする

または、次のようにサインインしてください：

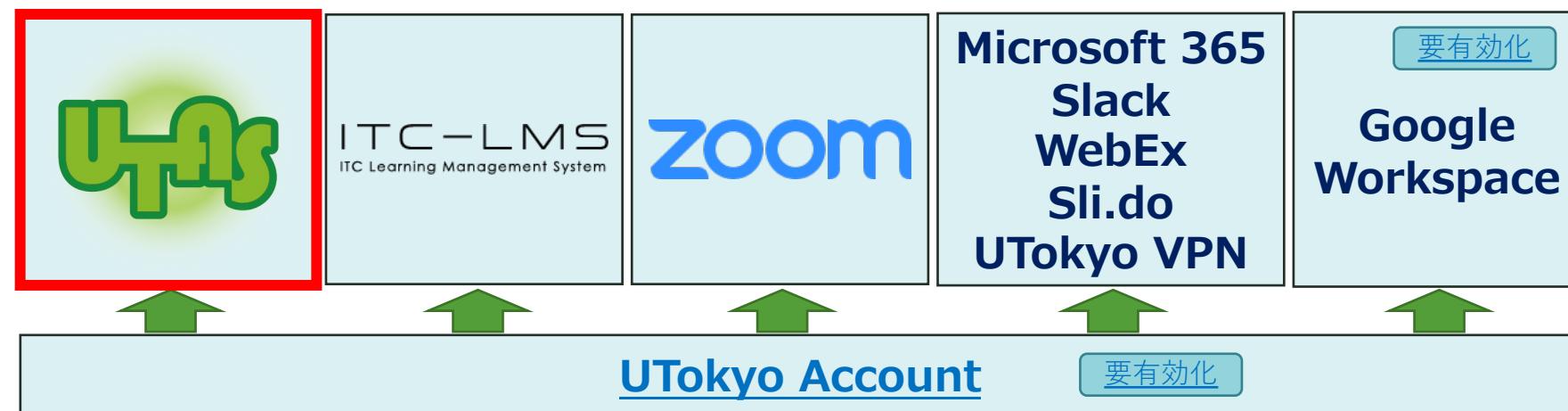
SSO Apple Google Facebook

ZoomはreCAPTCHAで保護されています。また、プライバシーポリシーとサービス利用規約が適用されます。

非常勤講師の UTokyo Account

- 常勤・非常勤を問わず、授業に必要ならば割り当てるのが基本です
- 非常勤講師（又はアレンジご担当）の先生方：必要なのに割り当てられていないなら、事務へご連絡ください
 - 必要な例：シラバス登録、成績登録、LMSで課題を出す、Zoomで授業をホストする、etc.
 - 不要な例：ホストの先生に招かれてゲスト講演をする（だけ）
- 部局事務のみなさま：必要な先生には割り当てるようお願いします

■東大の学務に関する公式情報を扱う学務システムです



UTAS

■ ログインページ

- <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/>
- UTokyo Account で SSO

■ 教員

- シラバス登録・検索・閲覧
- 履修者確認
- 休講登録
- 成績登録

■ 学生

- シラバス検索・閲覧
- 履修登録
- 成績確認

UTAS



ブックマーク

ログイン時に押す

UTAS - the University of Tokyo

utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do

UTAS (Tokyo Academic affairs System)

ユーザー名及びパスワードについて

学務システム(UTAS, ITC-LMS)のログインアカウント（ユーザー名）は「UTokyo Account」になります。UTokyo Accountについては以下のURLを参照ください。https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_account/

注意：以前は利用できていた、急にログインできなくなった場合は、パスワードの有効期限切れが考えられます。その場合は、こちらのメニューからパスワードを変更してください。

The login account (user name) for the Academic Affairs System (UTAS, ITC-LMS) is "UTokyo Account". Please refer to the following website for UTokyo Account.
https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/en/utokyo_account/

*Note: In case you cannot log in to UTAS or ITC-LMS, your password might not be valid any more. Please change your password.

前期課程学生向けのお知らせについて

前期課程1・2年生向けのお知らせはこちらに掲載されますので、必ず確認してください。

東京大学オンライン講義検索システム

オンライン講義にアクセスするための情報を簡単に検索できる
「東京大学オンライン講義検索システム」の運用を開始しました。
これは、UTASのオンライン講義URL、オンライン講義内容のフィールドを1時間おきに反映するものです。
ECCSクラウドメール(g.ecc.u-tokyo.ac.jpのメール)のアカウントでログインして使用してください。
[東京大学オンライン講義検索システム](#)

UTAS上の毎時50分ごとの記載内容が翌00分ごろに本システムに反映されます。
すぐには反映されないので注意してください。また、UTASの他の欄やITC-LMSに掲載された情報は反映されません。
教員へのお願い：
オンライン講義アクセスの情報は、UTASのオンライン講義URL、オンライン講義内容の欄で1分毎に反映される予定です。

As a supplement to the UTAS system, you can use [UTAS Lite](#) to view the original information on UTAS every one hour. ECCS Cloud mail (g.ecc.u-tokyo.ac.jp) members:
To faculty members:
Please update the Online Class URL and the Online Class Information.

ログイン

Information

Link

English

スマホ版

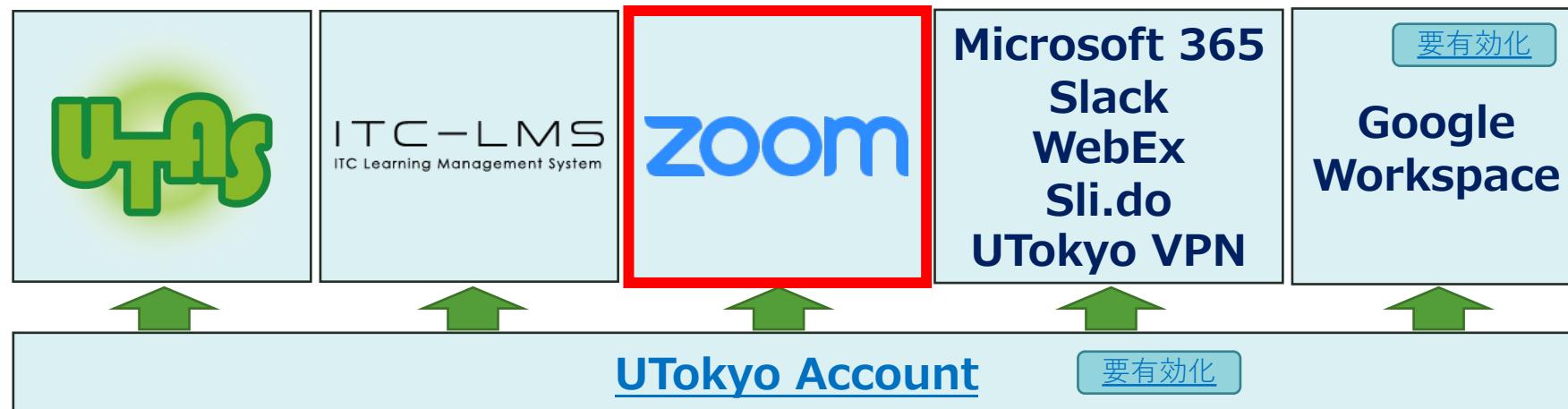
アクセスが集中している時には、接続しづらいことがあります。
その場合は時間をおいて再度ログインするようにしてください。

東京大学ウェブページ－教育・学生生活

東京大学授業カタログ

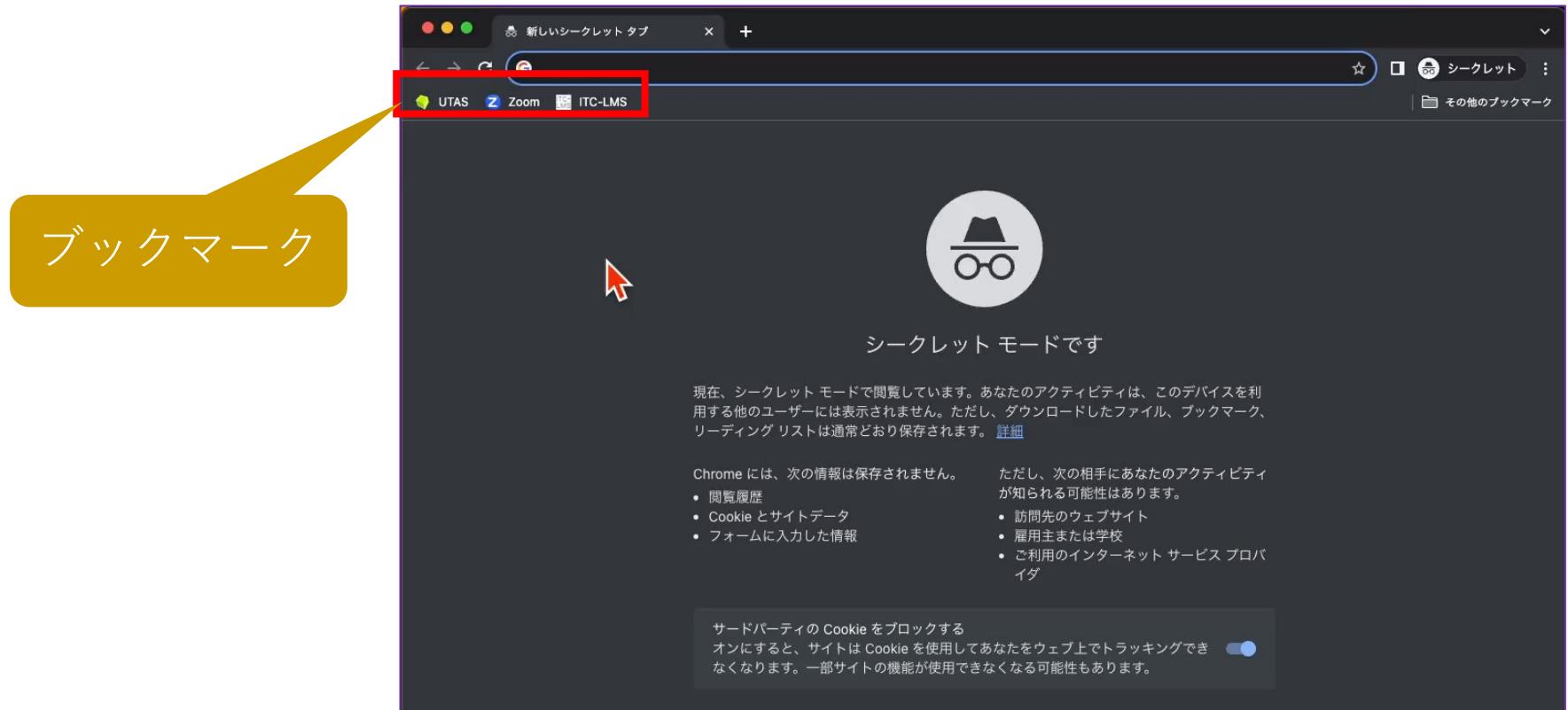
Zoom

■東大のオンライン授業で最もよく使われているビデオ会議システムです



サインイン

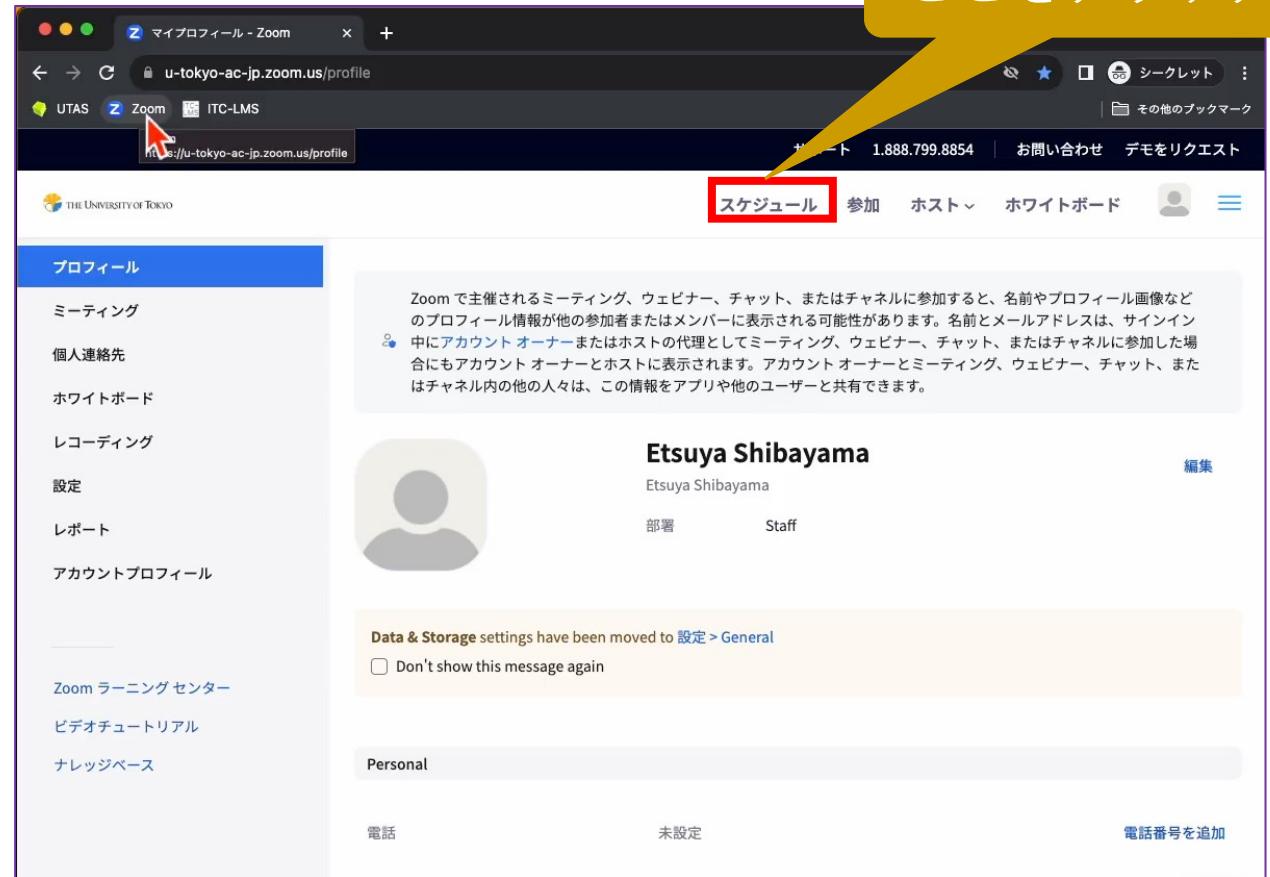
- 専用ページ <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/profile> にアクセスするのが簡単です
 - このページをブックマークしておくのがお勧めです



ミーティングの設定

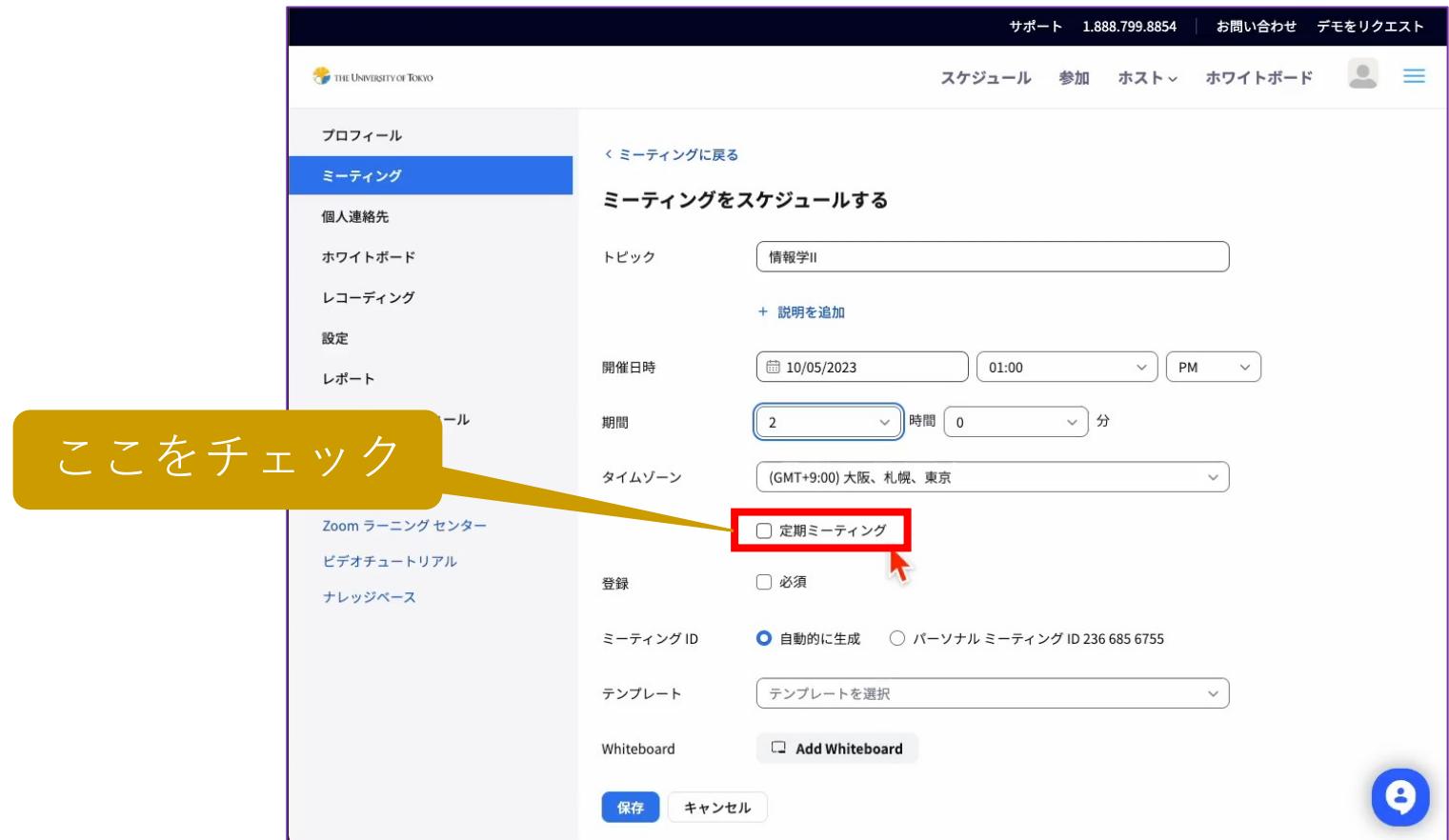
■ 「スケジュール」を押し、設定画面でトピック（会議室の名前）や日時等を入力します

ここをクリック



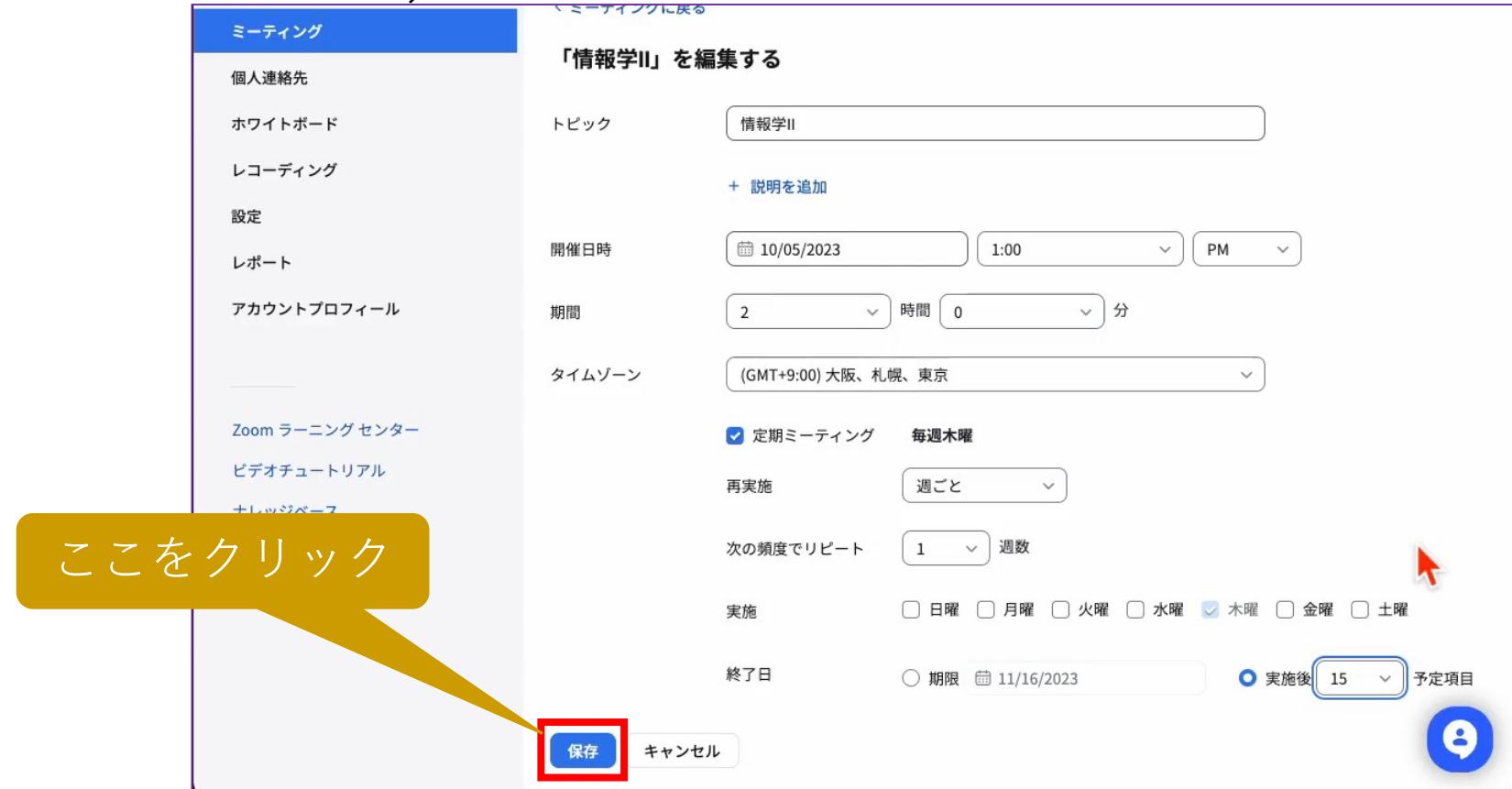
ミーティングの設定

■ 「定期ミーティング」をチェックすると、まとめて複数回のミーティングを設定できます



ミーティングの設定

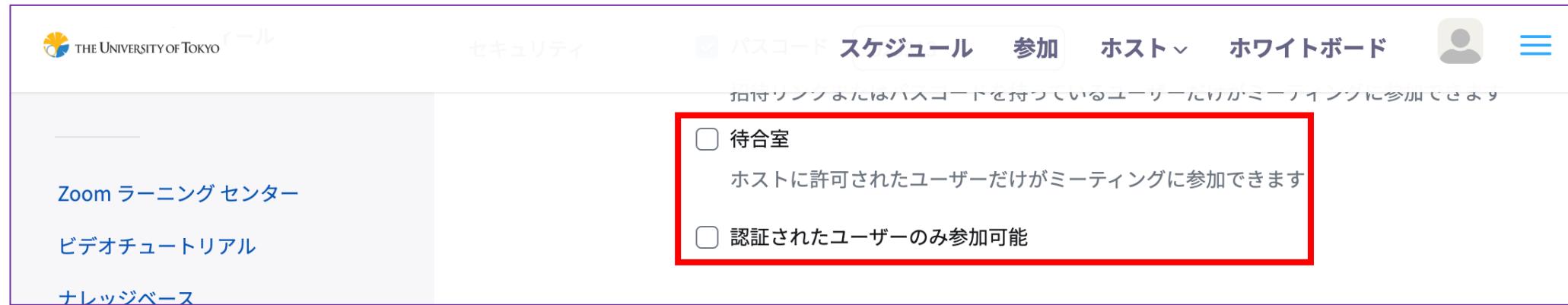
- 「保存」ボタンを押し、「招待状をコピー」を押すと、URL, ミーティングID, パスコードが現れます



ミーティングの設定

■ 入室制限のために「待機室」や「参加時に認証を求める」を使う場合には、注意が必要です

- 特に慣れていない学生に認証を求めるとき、入れないことがあります
- 全員を待機室で待たせると、入室許可を出すのが大変です
- 参考：[https://utelecon.adm.utokyo.ac.jp/faculty members/zoom access control](https://utelecon.adm.utokyo.ac.jp/faculty_members/zoom_access_control)



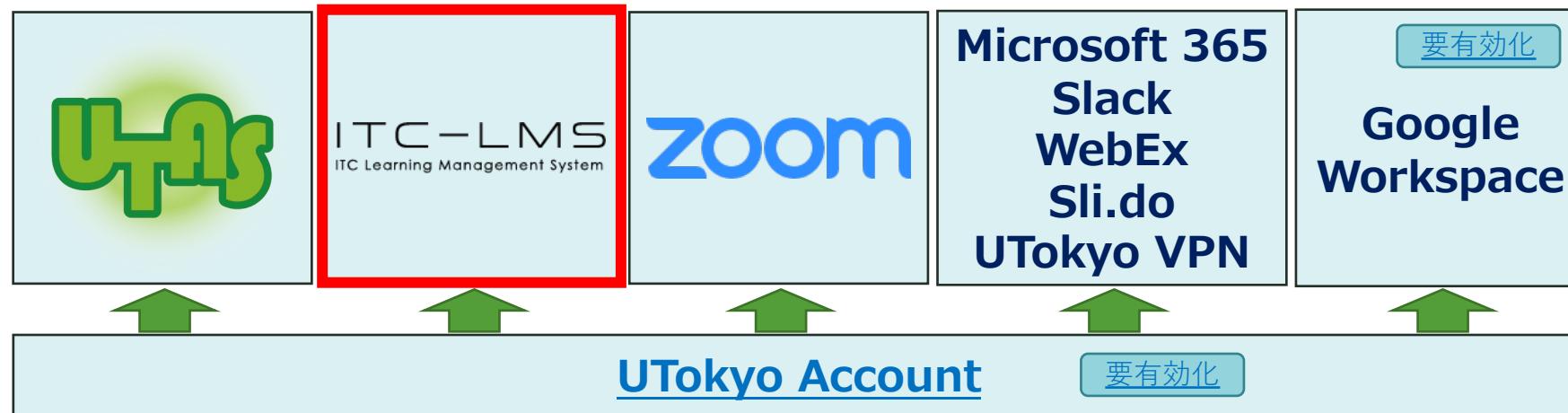
The screenshot shows the 'Zoom Learning Center' interface. On the left sidebar, there are links for 'Zoom ラーニングセンター', 'ビデオチュートリアル', and 'ナレッジベース'. The main area has tabs for 'スケジュール', '参加', 'ホスト', and 'ホワイトボード'. Below these tabs, there is a note in Japanese: '招待リンクまたはハッシュコードを持つているユーザーにリマーニングに参加できます'. Underneath this note are two checkboxes:

- 待合室
ホストに許可されたユーザーだけがミーティングに参加できます
- 認証されたユーザーのみ参加可能

The second checkbox is highlighted with a red border.

ITC-LMS

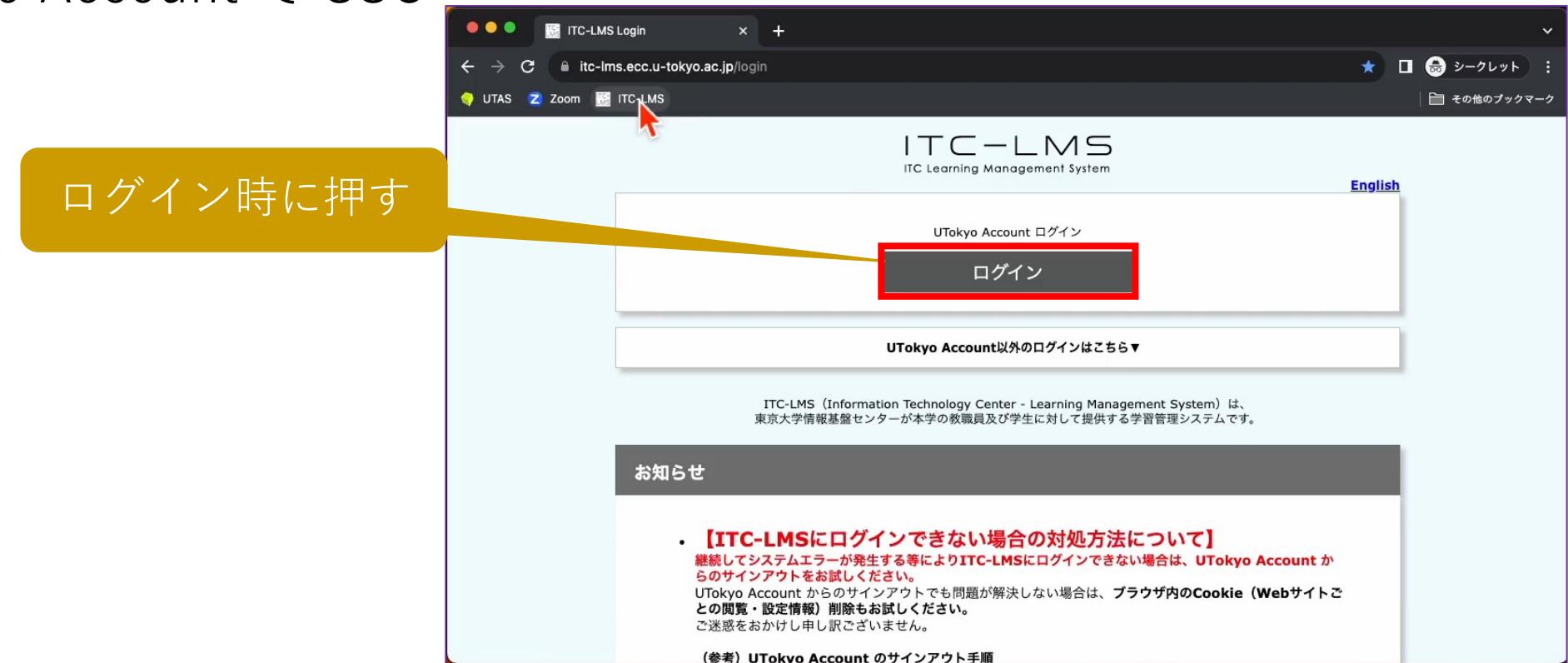
- 教材配布, レポート回収, 小テストなどに使えます
- オンライン授業の URL を作成したら, ITC-LMS に掲載して, 学生に周知します
- https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/itc_lms もご参照ください



サインイン

■ ログインページ

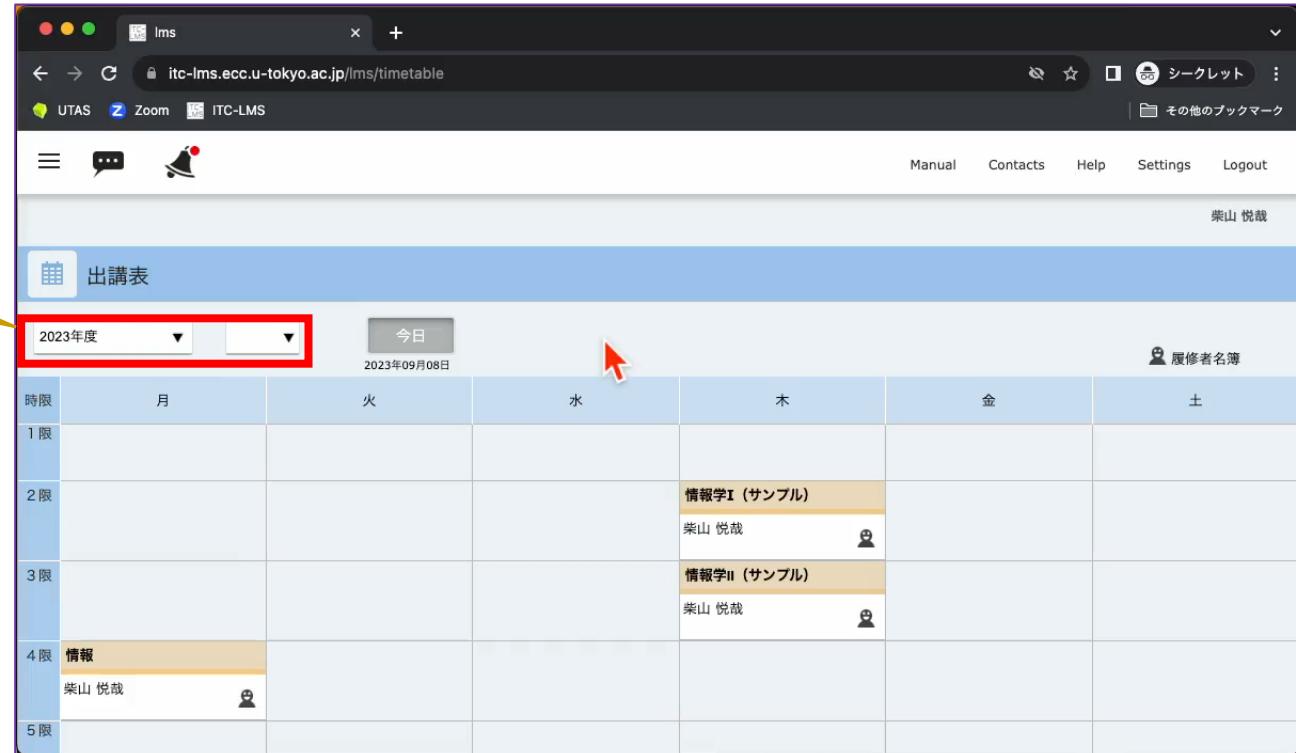
- <https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/login>
- UTokyo Account で SSO



出講表

- ログインして最初に訪れるページです
- アクセス日の学期の担当コースが表示されます
 - Aセメスターのコースを9月中に使う場合、開講期を指定する必要があります

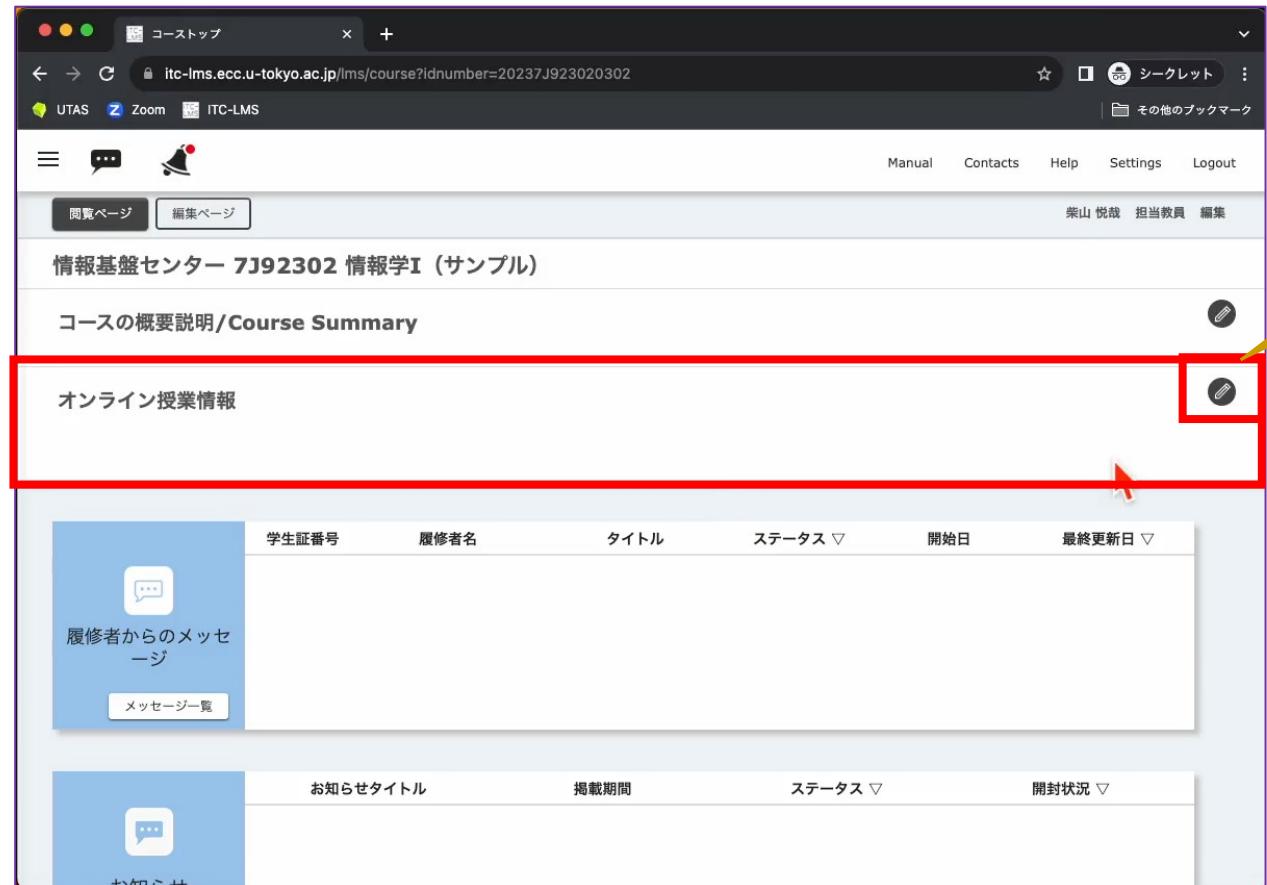
必要に応じて
年度とタームを選択



The screenshot shows the ITC-LMS Timetable page. At the top, there are navigation links for UTAS, Zoom, and ITC-LMS. The main header says "出講表". Below it, there are dropdown menus for "年度" (Academic Year) set to "2023年度" and "ターム" (Term) set to "1". A red arrow points from the text "必要に応じて年度とタームを選択" to these dropdowns. The central part of the page is a weekly timetable grid for September 8, 2023. The grid has columns for "時限" (Period), "月" (Monday), "火" (Tuesday), "水" (Wednesday), "木" (Thursday), "金" (Friday), and "土" (Saturday). The rows are labeled 1限 through 5限. Several courses are listed in the grid, such as "情報学I (サンプル)" and "情報学II (サンプル)", both taught by "柴山 悅哉". A red box highlights the "4限" row, which contains the course "情報" and the teacher "柴山 悅哉".

オンライン授業情報

- 出講表から授業を選び「オンライン授業情報」欄に、ZoomミーティングのURL等を掲載します



オンライン授業情報

ここを押すと
編集モード

オンライン授業情報

- お手数ですが、URLのリンク化、ミーティングIDとパスワードの掲載もお願いします
- 参考: https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/faculty_members/url

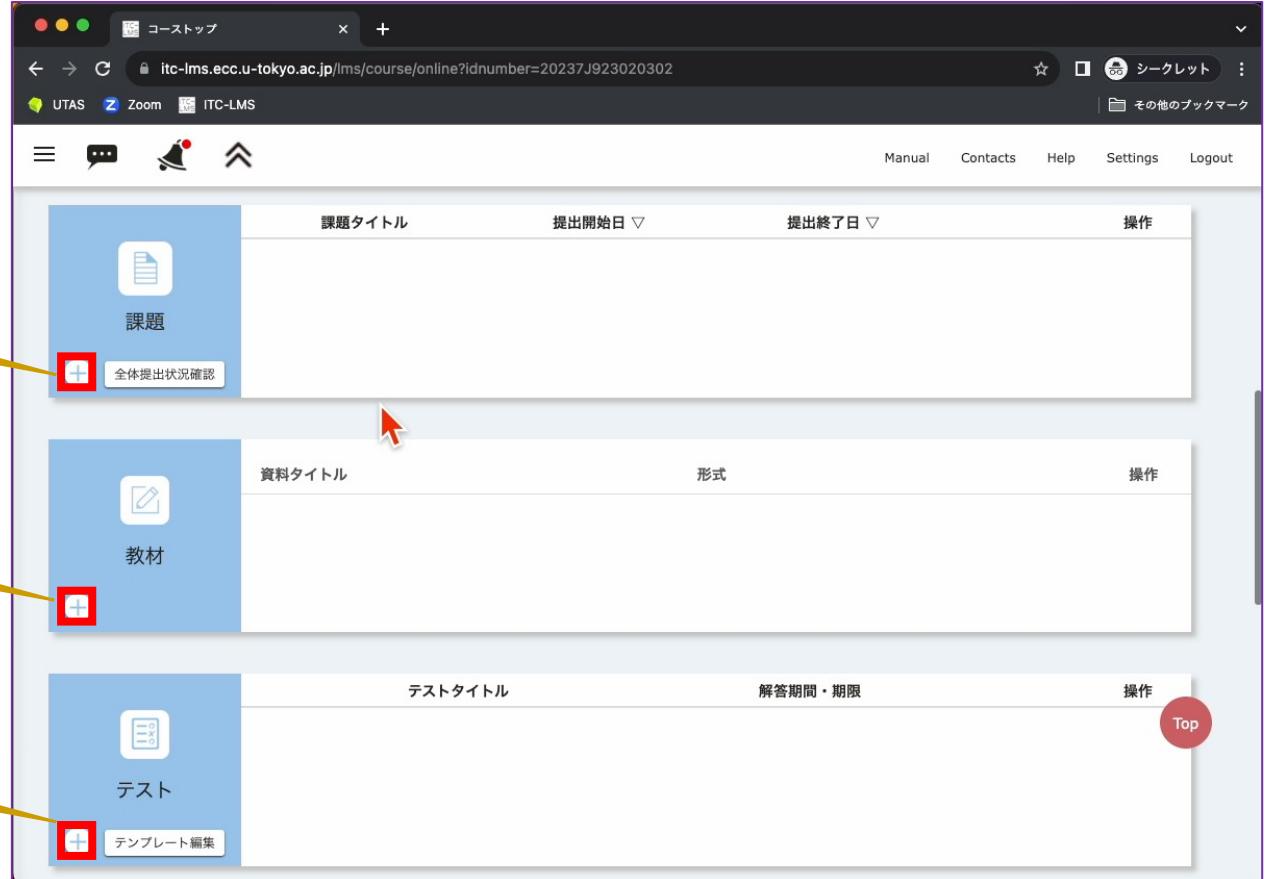
ITC-LMS の機能

■授業履修者限定で連絡や情報の受け渡しができます

- コミュニケーション支援
 - ◆ お知らせ（教員→学生）
 - ◆ メッセージ（学生→教員）
 - ◆ オンライン掲示板（学生↔教員, 学生↔学生）
- 授業に特有の情報の受け渡し
 - ◆ 教材配布
 - ◆ レポート回収とそれに対する採点結果等の配布
 - ◆ 小テスト
 - ◆ 出席確認
- その他
 - ◆ アンケート

講義資料などの登録

- コースのページを縦スクロールすると、「課題」、「教材」などの一覧と、登録ボタンが表示されます



The screenshot shows a web browser window for the ITC-LMS system. The URL in the address bar is itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/lms/course/online?idnumber=20237J923020302. The page displays three lists of items with corresponding 'Add' buttons:

- 課題の追加** (Assignment Add): Points to the '+ 全体提出状況確認' button under the '課題' (Assignment) section.
- 教材の追加** (Material Add): Points to the '+ ' button under the '教材' (Material) section.
- テストの追加** (Test Add): Points to the '+ テンプレート編集' button under the 'テスト' (Test) section.

学生からの要望

- 単位は不要だが聴講したい
- 担当教員と連絡を取りたい
 - 特に、オンライン授業の場合
- 利用方法を統一して欲しい

未履修での聴講

- 以前は、学生が履修登録なしで授業に参加するのは、比較的容易でした
- しかし、ITC-LMS 経由の配布資料を見るためには、履修登録または仮登録が必要になります

未履修での聴講

- デフォルトでは、履修登録期間中は仮登録を許可し、その後は不許可にしています
- 過去の例では、履修登録期間終了後に「使えなくなった」という質問が多く寄せられます

学生の登録方法	参加開始時期	参加の可否
UTASで履修登録	登録の翌日	必ず参加可
ITC-LMSで教員が登録	学生が次にログインした時	仮登録を許可すると参加可 不許可に変更で参加取り消し
ITC-LMSで学生が自己登録	即時	仮登録と自己登録を許可すると参加可 不許可に変更で参加取り消し

未履修での聴講

■履修期間中は、仮登録・自己登録を許可するのがお勧めです

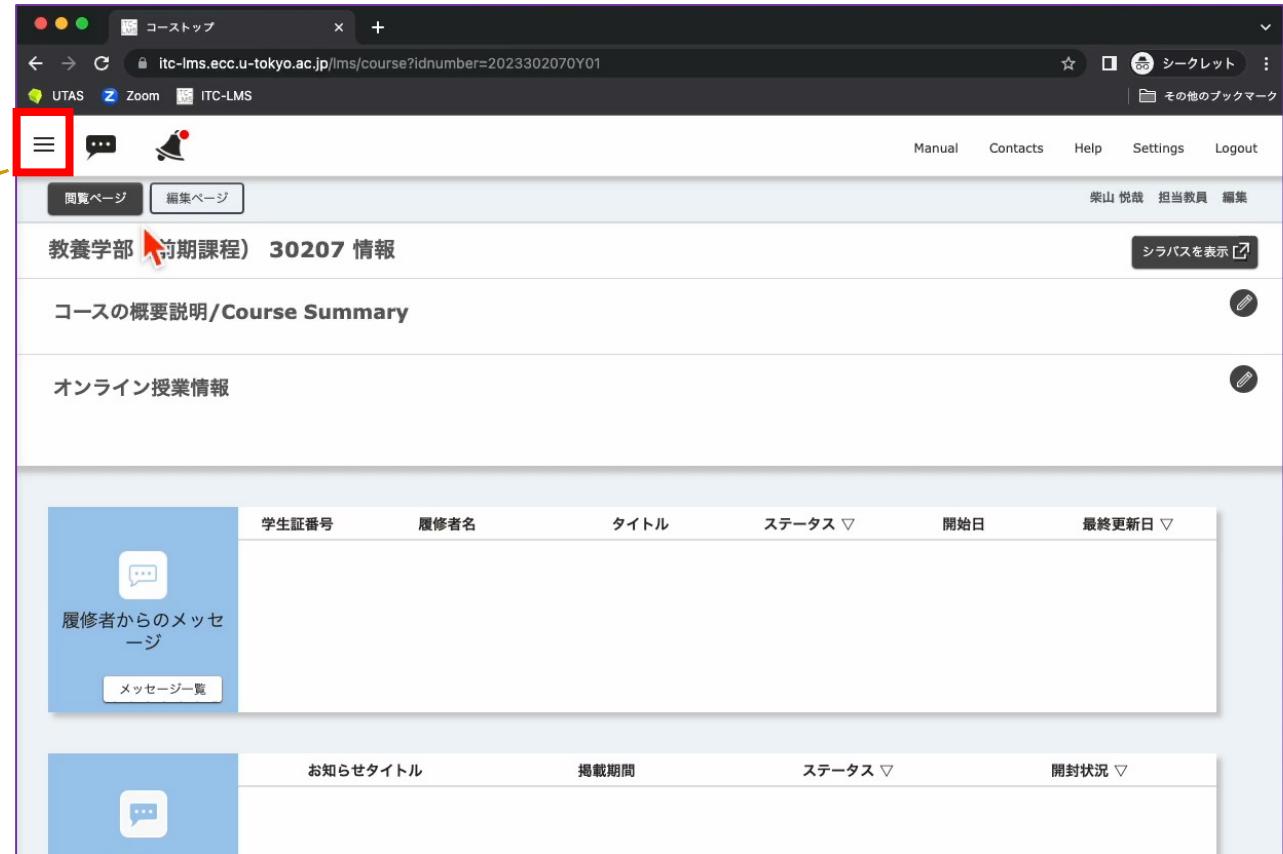
自己登録を認める

履修登録期間中だけ仮登録を認める

履修者範囲設定	
<input type="radio"/> 常に仮登録者を許可 <input checked="" type="radio"/> 履修確定日まで仮登録者を許可 <input type="radio"/> 常に履修登録者のみ	
履修確定日	
自己登録	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する
コンテンツ再利用	<input type="checkbox"/> 作成したコンテンツについて、自分が担当しない他コースも含め利用（コピー）を許可する
メッセージ利用	<input checked="" type="checkbox"/> 学生からのメッセージを受け付ける

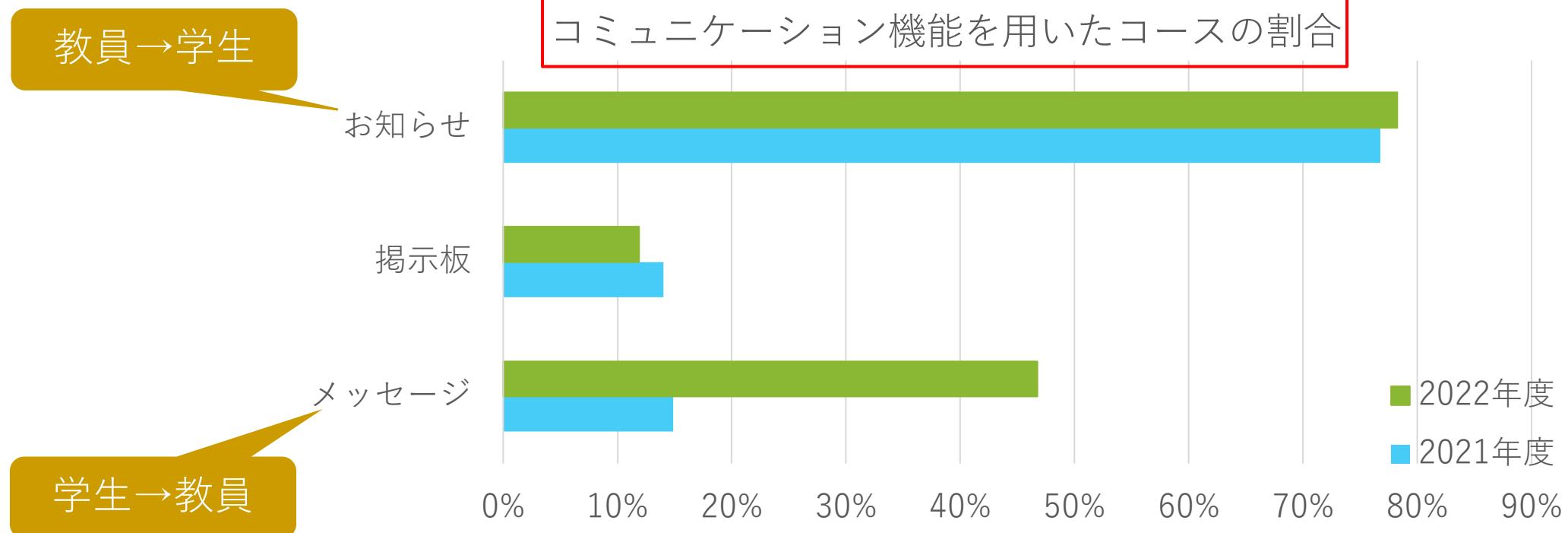
未履修での聴講

- 設定画面は、コース内で左上のバーガーメニュー(≡)から、サイドメニュー経由で開きます



学生からの連絡

- 「お知らせ」の利用が多いです
- 昨年度から、「メッセージ」機能をデフォルトでONにしています



学生からの連絡

■ 「メッセージ」機能について

- 学生が教員のメールアドレス等を知らなくても「学生→教員」の連絡が可能です
 - ◆ もちろん、教員が読んでいることが前提です
- 教員は、送信者を把握し、返事を返すことができます

■ 学生連絡用に掲示板を開設するのもお勧めです

- 教員が（原則として）見るかどうかは宣言しておいた方が良いでしょう

学生からの連絡

履修者範囲設定	<input type="radio"/> 常に仮登録者を許可	<input checked="" type="radio"/> 履修確定日まで仮登録者を許可	<input type="radio"/> 常に履修登録者のみ
履修確定日			
自己登録	<input checked="" type="checkbox"/>	許可する	
コンテンツ再利用	<input type="checkbox"/>	作成したコンテンツについて、自分が担当しない他コースも含め利用（コピー）を許可する	
メッセージ利用	<input checked="" type="checkbox"/>	学生からのメッセージを受け付ける	

チェックしてあると学生が
教員にメッセージを送れる

利用方法の統一

■多くの授業を履修している学生は、以下のような不満を抱きやすいです

- オンライン授業の URL の掲載場所が、UTASのシラバス、ITC-LMSのオンライン授業欄やお知らせなど、授業によって異なる
- 教材の配布方法やレポートの提出先が、ITC-LMS、Google Classroom、GoogleやMSのドライブやフォームなど、授業によって異なる

課題やテストの出題

- 学生用には、提出すべき課題、受験すべきテストなどを一覧表示する画面があります

提出状況一覧

締切順に並べることができます

コース名 ▽	コンテンツ ▽	タイトル	期限 △	再提出期限 ▽
情報学I（サンプル）	テスト	テストの練習	2023/09/15 12:00:00	
情報学I（サンプル）	テスト	情報の表現	2023/09/22 20:00:00	
情報学II（サンプル）	課題	アルゴリズムの計算量	2023/09/29 15:00:00	
情報学I（サンプル）	課題	第1回課題	2023/10/06 12:00:00	

課題やテストの出題

■授業時間外の学習が増えると、タスクリストの管理が重要になります

- ITC-LMS で出題すると学生はタスクを一覧表示できます
- 課題・テストの期限を、学生に連絡した締切と一致させないと、学生にとっては管理の手間が増えます

■レポート提出で遅れを許したい場合

- 「期間後の提出」を「可」に設定するか、
- 「再提出期限」を設定してください

■テスト受験で遅れを許したい場合

- テストのコピーを作り、期限を変えて再出題してください
 - ◆ テストのコピーは「テンプレート登録」&「テンプレートから読み込む」または「過去のコンテンツをインポート」で作れます

オンライン授業情報の表示

■学生用には、オンライン授業情報を一覧表示する画面があります

オンライン授業情報

月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日

オンライン授業情報一覧

時限	コース名	オンライン授業情報	更新日時
2限	情報学I (サンプル)	第1回目の授業はオンラインで行います。 以下から接続してください。 https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/xxxxxx ミーティングID: xxx xxxx xxxx パスコード: xxxxxx	2023/09/08 15:11
3限	情報学II (サンプル)	この授業は毎回オンライン形式で行います。 以下から接続してください。 https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/xxxxxx ミーティングID: xxx xxxx xxxx パスコード: xxxxxx	2023/09/08 15:23

その他の注意事項

- 更新の遅延
- UTAS の無効になった科目情報
- コースのグルーピング
- テストの自動採点

更新の遅れ

■瞬時には反映されない操作・動作があります



- UTAS での履修登録が反映されるのは翌日です
- コース担当教員が、ITC-LMS でコース参加者を登録したときに反映されるのは、登録された人が次回 ITC-LMS にログインしたときです
- 教材や課題の登録が、学生にメール・LINEで通知されるのは1日に1回（午前7時台）のみです

■コースが作成されるのは授業開始約1ヶ月前です

- 現時点で、2023年度のA2タームのコースはまだ作られていません

UTAS の無効になった科目情報



- UTAS で、科目が削除されたり、開講曜限が変更されたりしても、ITC-LMS 上の古い情報を反映したコースは消えません
 - 既に使われているコースを消すと、設定情報や登録コンテンツも同時に消えるためです

コースのグルーピング

■複数のコースで同じ教材や課題を使う場合、コースをグルーピングしておくと、1回の操作で全コースに同じコンテンツを登録できます

- UTASで、最初から合併科目（複数看板科目）として登録されていると、ITC-LMS で自動的にグルーピングされます
- それ以外の場合、手動でグルーピングを行うこともできます
- ただし、履修生の重複があったり、複数コースに既に教材、課題などが登録されていると、グルーピングできません










テストの自動採点

■選択式・穴埋め式のテストは自動採点可能です

- ただし、正解は一つしか指定できません
- 穴埋め式の自動採点では、解答の先頭と末尾の空白文字を無視します
- 手動での訂正は、画面上でも、ファイルのアップロードでも可能です

ランダム出題 [必須]	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	<input type="text"/> 問
合格点 [必須]	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	<input type="text"/> 点
採点結果の参照 [必須]	<input checked="" type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 提出時／採点後 <input type="radio"/> 解答期間終了時	
正解の参照 [必須]	<input type="radio"/> 不可 <input checked="" type="radio"/> 提出時 <input type="radio"/> 採点後 <input type="radio"/> 解答期間終了時	
自動採点 [必須]	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない	
再受験 [必須]	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 合格点に達するまで可	
公開対象 [必須]	<input checked="" type="radio"/> すべての履修者 <input type="radio"/> ユーザグループを選択	

おわりに

- 2020年度の授業の完全オンライン化により、ここで紹介したシステムが多用されるようになりました
- 最近は対面の比率が増えていますが、たとえば、以下のような利用方法は、今後も意義があるでしょう
 - 予習・復習用のオンデマンドビデオ教材を Zoom の録画機能を使って作成する
 - 教材配布や課題提出を ITC-LMS で行う
 - 授業時間中に小テストを ITC-LMS で行う